

二五九八番

遠くあれど 君にそ恋ふる 玉梓の 里人皆に  
我恋ひめやも

二五九九番

験なき 恋をもするか 夕されば 人の手まきて  
寝らむ見故に

二六〇〇番

百代しも 千代しも生きて あらめやも 我が思  
ふ妹を 置きて嘆かむ

二六〇一番

現にも 夢にも我は 思はずき 古りたる君に  
ここに逢はむとは